

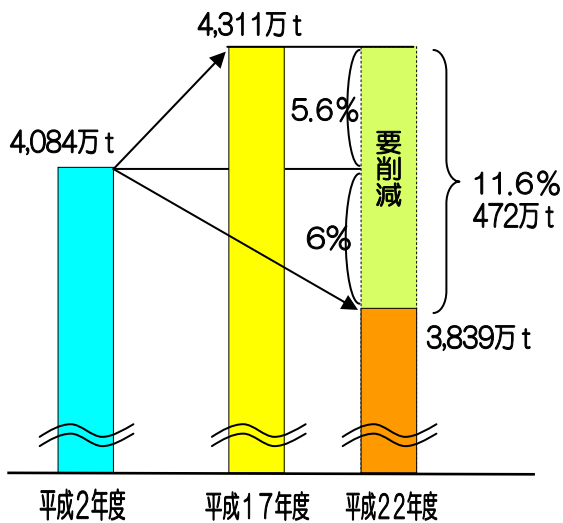
埼玉県における温暖化対策の現状

本県は、現行の「埼玉県地球温暖化対策地域推進計画」を平成16年3月策定し、平成22年度のCO₂などの温室効果ガス排出量を基準年（平成2年度）よりも6%削減する目標を定めた。

平成17年度の排出量は4,311万トン（CO₂換算）で基準年比5.6%増加しており、目標達成には11.6%の削減が必要となっている。

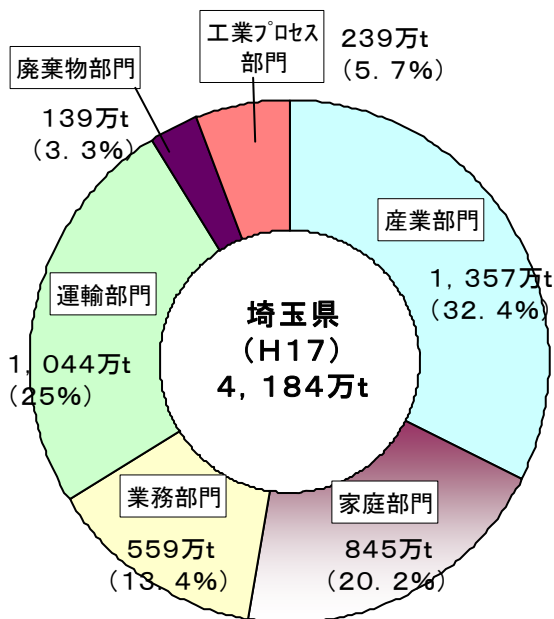
1 現状

(1) 温室効果ガス削減の考え方



- ◇目標
温室効果ガス排出量（平成22年度）
3,839万 t (基準年比 -6%)
- ◇排出量（平成17年度）
4,311万 t (基準年比 +5.6%)
- ◇目標達成に必要な削減量
472万 t

(2) 部門別二酸化炭素 (CO₂) 排出量



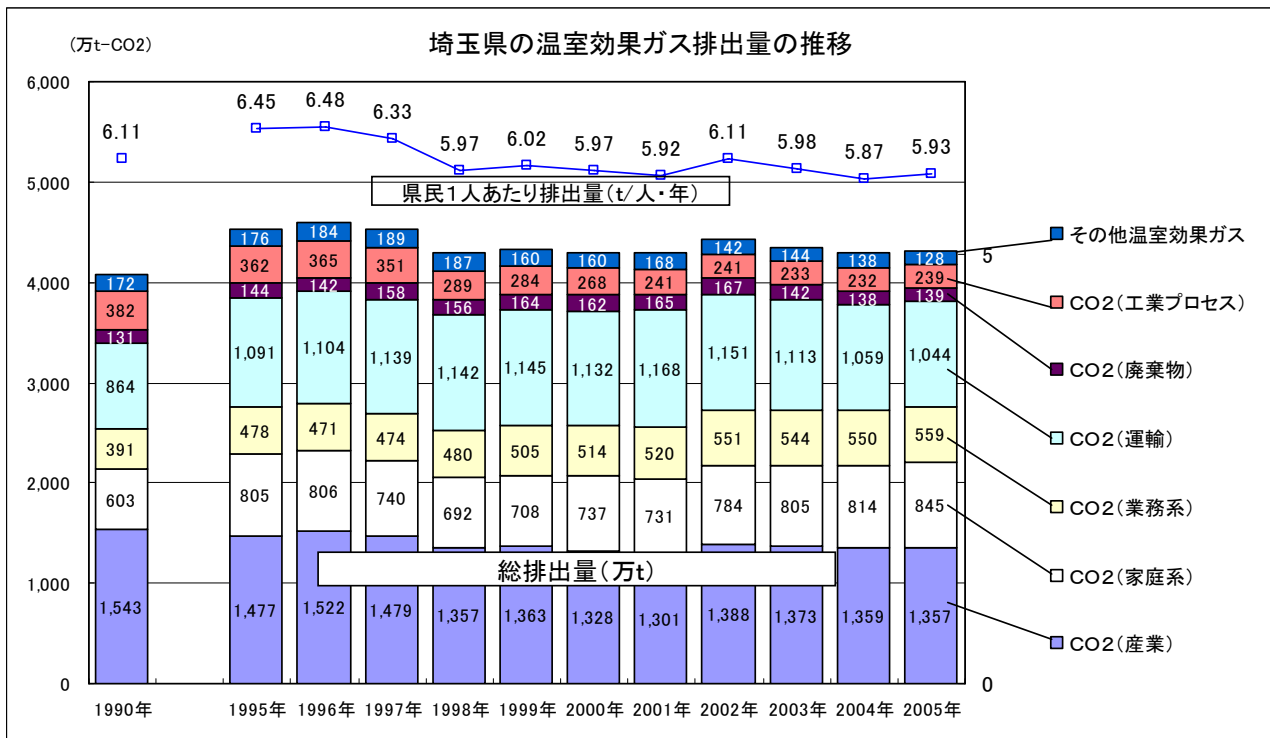
※CO₂は温室効果ガス全体の97%を占める

部門	基準年比増減 (%)
産 業	-12
業 務	43
家 庭	40
運 輸	21
廃 棄 物	6.7
工業プロセス	-37

- ◇CO₂排出量（平成17年度）
4,184万 t
- ◇基準年比で大きく増加した部門
業務、家庭、運輸の3部門

(3) 排出量の推移

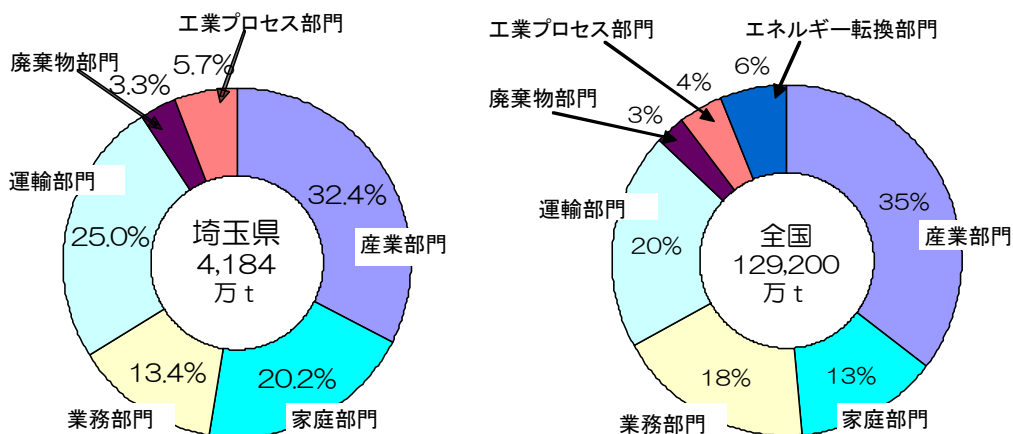
温室効果ガス排出量はここ数年横ばいの傾向にある。県民1人あたりの排出量は基準年以降やや減少しているがここ数年は横ばいの傾向にある。



(4) 全国との比較

本県の二酸化炭素排出量は全国の3%を占めている。部門別では産業部門、業務部門の割合が全国に比して少なく、運輸部門、家庭部門の割合が比較的大きい。

また、1人あたりの排出量は本県の5.9 t/人に対し、全国は10.1 t/人と全国の58%程度となっている。



全国と埼玉県の部門別二酸化炭素排出割合の比較(H17年)

※埼玉県には大規模発電所等が無いので、エネルギー転換部門からの排出は無い。

2 埼玉県的主要な温暖化対策の施策

